

## 令和3年度 安全管理研修Ⅱ開催要綱

### 1 背景

新型コロナウイルス感染症の影響で、昨年度に見合わせていた国際要員の派遣が本年度から再開されるとともに、病院ERUが整備され、国際要員の育成は急務となっている。今後は国際赤十字・赤新月社連盟（連盟）、赤十字国際委員会（ICRC）及び二国間の事業への派遣機会が回復することが期待される。一方、派遣先には政情不安定な国や紛争地域周辺が多く、ICRCの緊急派遣として複合災害への派遣の可能性も想定される。このような状況において、国際要員個々人が安全対策や危険管理を適切に行えるよう、安全管理の基本的知識を身に付けることが必要不可欠となっている。

### 2 目的

国際要員が派遣先にて安全確保、存在するリスクの見極め、予防策・緩和策の基礎的な知識、能力を身に付け、安全管理意識と実践力の向上を図ることを目的とする。

なお、本研修は平成23年4月26日付国企第102号通知のとおり、すべての国際要員に派遣前の必須研修とされている。

### 3 日時

令和4年2月28日（月）～3月2日（水） 各日9:00～18:00（予定）

### 4 会場

日本赤十字社 本社2階 201会議室

### 5 主な研修内容

- ・人道援助機関の安全環境
- ・安全のための7つの柱
- ・リスクアセスメントとリスクの予防・軽減
- ・要員個人の安全管理
- ・Safer Access（ICRC）
- ・フィールドトリップと安全管理
- ・群衆・暴徒に対する安全管理
- ・地雷・爆弾・爆発性戦争残存物とその威力、銃撃への備え
- ・誘拐と人質
- ・人道援助機関と軍隊
- ・情報の取り扱い
- ・女性要員の安全管理
- ・感染症対策

※研修全体における使用言語は日本語ですが、一部の研修資料・映像に英語が含まれます。

## 6 参加資格者

以下（1）～（3）の要件をすべて満たす者

（1）国際救援・開発協力要員研修II（IMPACT）、基礎保健ERU研修のいずれかを修了している者、または来年度当該研修を受講する意向のある者。

（2）安全管理研修I（Stay Safe - Personal Security<sup>※</sup>）を修了していること。

※連盟E ラーニング（<https://ifrc.csod.com/client/ifrc/>）<sup>※</sup>。約5時間のオンライン研修で国際救援活動等を実施する際に必要な安全管理を学ぶもの。

※現在改訂中のため、Stay Safe—Personal Security Crash Course でも可（約1時間のオンライン研修）。

（3）本研修の修了後、国際活動への派遣に応じられること。

## 7 参加申込方法

下記入力フォームにより、令和3年12月17日（金）までに入力し、申し込みすること。

<https://forms.office.com/r/k4G1p5MmXx>

## 8 その他

- （1）参加者数は24名程度とし、応募者多数の場合には、本社において書類選考を行うこと。
- （2）参加の可否について、申込みのあった者全員に対し令和4年1月上旬までに通知すること。
- （3）参加決定者については、追って事前準備等の詳細について連絡すること。
- （4）研修参加に必要な参加費及び旅費等は、支部・施設所属の方は国際医療救援事業交付金の対象となり、追って申請・充当すること。なお、同交付金の旅費の取り扱いについては平成26年9月30日付人事第445号「本社招集旅費の取扱いについて」が適用されること。
- （5）今後の新型コロナウィルス感染拡大の状況を踏まえ、必要に応じて開催方法を再検討すること。

## 9 個人情報の取得及び利用について

当該研修における受講者の個人情報の取得及び利用は、研修の円滑な運営と研修効果の最大化を目的とし、その目的の達成に必要な範囲内で取り扱うものとする。なお、個人情報の取得にあたっては、参加申込書の提出により本人の同意を得たものとする。

## 10 問い合わせ先

日本赤十字社 事業局 国際部 企画課 安全管理研修II担当

〒105-8521 東京都港区芝大門1-1-3

Tel: 03-3437-7090 Fax: 03-3437-7509 Mail: [kokusai-hr@jrc.or.jp](mailto:kokusai-hr@jrc.or.jp)